

経営会議の内容

件 名	「70 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言について
所 管 部	政策部
日時・場所	平成30年3月9日（金） 11：00 ～ 11：40 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、議会事務局長、政策総務課長
提 出 理 由	「70 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言を行うにあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	【主な意見等】 ・市では高齢の方を対象にした事業もあるが、宣言による影響はどのように考えたほうがよいか。 （所管部）今回の宣言は、市民の方の意識に働きかけるメッセージとして行うものであり、現在展開している事業等に直接影響を与えるものではないこととして整理している。 ・日本老年学会・日本老年医学会が定義する「65 歳～74 歳の准高齢者」に対する生き方のモデルをつくるなど、考えていることはあるか。 （所管部）生き方のモデルというよりは、従来の「60 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言を発展させることで、65 歳～74 歳も含む方々に対する前向きなメッセージを送る趣旨として宣言を行いたいものである。 ・「60 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言の際の反響は。 （所管部）当時は新聞、テレビ等、マスメディアで大きな反響があり、概ね肯定的な意見を中心として市内外から注目をいただいた。 ・平成 30 年 4 月に予定する宣言セレモニーの具体的な日程は。 （所管部）市の新たな公共施設として、中央林間図書館、（仮称）市民交流センターのオープンを 4 月 1 日に控えているため、宣言セレモニーはこの日を除いて実施していきたい。 ・内閣府の行う「高齢者の日常生活に関する意識調査」に類するアンケートを本市で実施している例はあるか。 （所管部）同様の目的で実施している例はない。 ・10 年前と比較すれば、本市の 70 歳以上、80 歳以上の方の割合は増えている。宣言の背景にはこのような要素もあったことと思う。 ・70 歳代を高齢者と言わないことは、多くの方の意識はもとより、様々な実情にも合った先進的な内容であると感じている。 ・健康都市やまとを標榜する本市において、今回の宣言によって市民の方の健康づくりの気運が高まれば、大変望ましいことである。 ・多くの方は、年寄り扱いされることに抵抗があると考えられる。高齢の方を人生の先輩として捉え、前向きなメッセージを送ることができると良いと思う。 ・市立病院では 70 代以上の方の入院患者は増えている。しかし、医療技術の進歩もさることながら、過去では、年齢的に手術を行わなかった症例であっても、現在は手術を行い回復するケースが多くみられるなど、身体的な機能が向上しているように感じることもある。 ・福祉部署の持つ計画とも方向性を合わせながら、連携を取ってもらいたい。

	・4年前、「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言をした本市であるからこそ、新たに、70歳代を高齢者と言わないこと、として宣言を発展させ、再構成する意義を持ち得るものである。 ・新しい宣言では、70歳代にエールを送るという意味において、この世代を構成する、社会で活躍される方、自立して健康増進に努めている方、社会の支えを必要とする方、全ての方々へのメッセージが表現されている。現在の社会の実情をふまえて、宣言の先進的な意味がさらに現実的なものとなるのではないか。
会議結果	案のとおり、進めていく。